

事 務 連 絡

平成30年2月22日

各介護老人福祉施設
各指定短期入所生活介護
各介護老人保健施設

} 御中

神奈川県保健福祉局福祉部
高齢福祉課

「ユニットケア研修フォーラム2018」の周知について

このことについて、平成30年2月8日付けで、一般社団法人日本ユニットケア推進センターから周知依頼がありましたので、お知らせします。

なお、本フォーラムに関するお問合せは、日本ユニットケア推進センターまで御連絡ください。

問合せ先

福祉施設グループ 上野

電話 (045) 210-1111 内線 4855

日ユ発 第 133号

平成30年2月8日

神奈川県 保健福祉局福祉部
介護サービス担当課長 様

一般社団法人 日本ユニットケア推進センター
センター長 秋葉 都子



「ユニットケア研修フォーラム2018」開催について（周知依頼）

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当センターの事業につきましては、格別のご理解・ご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

当センターにおいては、毎年ユニットケア研修の集大成として「ユニットケア研修フォーラム」を開催しております。本年度は、「一人ひとりの『生き方・逝き方』に添うユニットケアを学ぼう」をテーマに下記のとおり開催いたします。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、同フォーラムの開催について、県下関係各所へのご周知方をよろしくお願い申し上げます。

記

1. 研修名：ユニットケア研修フォーラム2018
2. テーマ：一人ひとりの『生き方・逝き方』に添うユニットケアを学ぼう
3. 日 程：平成30年3月5日（月）9：30 ～ 16：30
4. 会 場：パシフィコ横浜 会議センター内メインホール
神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1
5. 内 容：基調講演

「死を前にした人に あなたは何ができますか？」

めぐみ在宅クリニック 院長 小澤竹俊 氏

実践報告&勉強会

- ① 24Hシートの導入・活用をしてみたら、何が変わったのか！
- ② 美味しく食べて、すっきり出す（排泄）！
- ③ 福祉用具の活用と人の手の介護では、どちらが安全で快適なのか！
- ④ 暮らしを支えるチームアプローチとは！（多職種協働）



ユニットケア研修フォーラム2018

一人ひとりの「生き方・逝き方」に添うユニットケアを学ぼう

基調講演

死を前にした人に あなたは何かができますか？

めぐみ在宅クリニック
院長 小澤 竹俊 氏
おざわ たけとし

プロフィール

1963年、東京生まれ
1987年、東京慈恵会医科大学医学部医学科卒業
1991年、山形大学大学院医学研究科医学専攻博士課程
修了、救命救急センター、農村医療に従事
1994年より横浜逓生病院内科・ホスピス勤務
1996年にはホスピス病棟長
2006年、めぐみ在宅クリニックを開院、院長

NHK総合「プロフェッショナル仕事の流儀」にご出演（2017年3月）

世の中で一番、苦しんでいる人のために働きたいと願い、医師を志す。2006年めぐみ在宅クリニックを開院、院長として現在に至る。「自分がホスピスで学んだことを伝えたい」との思いから、2000年より学校を中心に「いのちの授業」を展開。一般向けの講演も数多く行い、「ホスピスマインドの伝道師」として精力的な活動を続けている。多死時代に向け、人生の最終段階の人に対応できる人材育成に努めている。

【著 書】「死を前にした人にあなたは何かができますか？」（医学書院） その他著書多数

企業展示同時開催

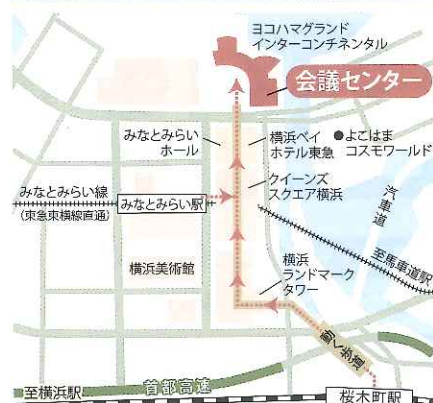
30社の関連企業が集まる展示会
どんな介護用品があるか覗いてみよう！



サンプルを入れるバッグ
をご用意しております

8:45 ~
16:30

パシフィコ横浜へのアクセス



■みなとみらい駅より徒歩3分
■桜木町駅より徒歩12分、バスで7分、タクシーで5分



一般社団法人

日本ユニットケア推進センター

ユニットケア 2018 研修フォーラム

一人ひとりの「生き方・逝き方」に添うユニットケアを学ぼう

あなたの働いている施設は最期まで安心して暮らし続けられる場所でしょうか？
その専門性を多角的にとらえる1日にしましょう

カリキュラム

9:30~ 10:00	全体会 オープニング
10:00~ 11:30	基調講演 「死を前にした人にあなたは何かができますか？」 《講師》めぐみ在宅クリニック 院長 小澤 竹俊 氏
	実践報告&勉強会
11:45 15:45	<div> 第1分科会 24Hシート 24Hシートの導入・活用してみたら、何が変わったのか！ 24Hシートの導入・活用をしてみたら、どんな効果が見られましたか？「一斉一律の介護ではなくなった」「入居者の暮らしが理解できた」など、具体的な施設での事例発表を通して、みんなで考えていきます。 </div> <div> 第2分科会 食べる・排泄 美味しく食べて、すっきり出す(排泄)！ 食べることを見直してみたら、どんな効果が見られましたか？「口腔ケアに取り組んで誤嚥性肺炎が減った」「腸内環境を整えたら下剤使用者が減った」「紙オムツから布パンツで過ごせる人が増えた」など、具体的な施設での事例発表を通して、みんなで考えていきます。 </div>
昼休憩 (75分)	
	<div> 第3分科会 福祉用具の活用 福祉用具の活用と人の手の介護では、どちらが安全で快適なのか！ リフト、スライディングボードやシート、モジュラー型車いすなど、導入してみたら、安全性と快適性はどのように変化しましたか？「入居者に負担がからなくなった」「職員の腰痛が減った」など、具体的な施設での事例発表を通して、みんなで考えていきます。 </div> <div> 第4分科会 多職種協働(人材育成) 暮らしを支えるチームアプローチとは！ どのような状態であってもこれまでと同じように暮らし続けたい。一人ひとりの生き方・逝き方を支えるには、多職種協働は欠かせません。あなたの施設ではどのようなチームアプローチができていますか？「チームで入居者の想いをくみ取ることができた」など、具体的な施設での事例発表を通して、みんなで考えていきます。 </div>
16:00~ 16:30	全体会 一人ひとりの「生き方・逝き方」に添うユニットケアを学ぼう



※「ユニットケア研修フォーラム2017」の様子

※カリキュラムは一部、変更になる場合があります。予めご了承ください。

開催の
ご案内

日時 **3月5日(月)**

会場 **パシフィコ横浜**

参加費 **7,560円(税込)**



お申込みは
WEBから!

参加申込
先着順
**1,000
名様**

日本ユニットケア推進センター

検索

お問合せ先 **ユニットケア研修フォーラム 2018 事務局**

●TEL: 03-5470-4407 ●FAX: 03-5470-4410 ●E-mail: shigeyuki.koyama@nta.co.jp 担当: 小山

～多くの皆さまからのご後援をいただき、今年もユニットケア研修フォーラムが実現します～

- 厚生労働省
- 神奈川県
- 横浜市
- 独立行政法人 福祉医療機構
- 公益財団法人 テクノエイド協会
- 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会
- 公益社団法人 全国老人保健施設協会
- 公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会
- 公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会
- 一般社団法人 日本医療福祉建築協会